

「社会人の大学等における学び直しの実態把握に関するアンケート調査」

調査票

平成27年12月

調査主体 文部科学省高等教育局専門教育課・大学振興課

調査委託先 イノベーション・デザイン&テクノロジーズ株式会社

【調査の趣旨】

教育再生実行会議「「学び続ける」社会、全員参加型 社会、地方創生を実現する教育の在り方について」（第六次提言）において、我が国におけるこれからの持続的な成長は、多様な経歴を持った人々が社会の担い手として能力を発揮できる全員参加型社会の実現によって可能となるものであり、国家戦略として、「社会に出た後も、多様な全ての人が、都市でも地方でも、学び、輝き続ける社会」を実現するため、大学、（大学院、短大、高専、）専修学校等が社会人向けのコースの設定等により、社会人や企業等のニーズに応じた実践的・専門的な教育プログラムの提供を推進することとしています。

文部科学省では、大学、大学院、短期大学、高等専門学校（以下「大学等」という）における社会人や企業等のニーズに応じた実践的・専門的なプログラムを「職業実践力育成プログラム（BP※）」として認定する制度を平成27年7月に創設したところです。

今後、当該プログラムの受講を通じた社会人の職業に必要な能力の向上を図る機会を拡大し、社会人の学び直しを促進させるため、現在大学等が提供している教育課程や各種プログラム等を活用して学び直しをしている社会人の方を対象としたアンケート調査を実施することと致しました。

つきましては、ご多用のところ誠に恐れ入りますが、趣旨をご理解の上、アンケート調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。

※: Brush up Program for professional

【ご回答期限並びにご回答方法等】

1. ご回答期限 平成28年1月22日（金）
2. ご回答サイト 本調査は、下記Webサイトにアクセスしていただき、ご回答頂きますようお願いいたします。

ご回答webサイト: 以下のURLにアクセス頂きご回答ください。
<http://idet.co.jp/chosa.html>

3. 照会内容についての質問先（お問合せはE-mailにてお願いいたします）

質問先: 本調査は以下の委託先にて実施しておりますので、下記メールアドレス宛にお願いいたします。

イノベーション・デザイン&テクノロジーズ株式会社 「社会人の学び直し実態調査」担当係

質問先メールアドレス: mext@idet.co.jp

質問メールの件名: 「【質問】社会人の学び直し実態調査」

4. 参考 『職業実践力育成プログラム（BP）』認定制度について
http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/bp/index.htm

調査項目

■あなたの年齢、性別、学歴等についてお尋ねします（選択は1つずつ）。

問 1-1 あなたの年齢を教えてください。

1	25 歳未満	☐
2	25 歳以上、30 歳未満	☐
3	30 歳以上、35 歳未満	☐
4	35 歳以上、40 歳未満	☐
5	40 歳以上、45 歳未満	☐
6	45 歳以上、50 歳未満	☐
7	50 歳以上	☐

問 1-2 あなたの性別を教えてください。

1	男性	☐
2	女性	☐

問 1-3 あなたの最終学歴を教えてください。（任意）

1	高等学校卒	☐
2	専修・各種学校卒	☐
3	高等専門学校卒	☐
4	短期大学卒	☐
5	大学卒	☐
6	大学院修了（修士課程、博士前期課程、専門職学位課程）	☐
7	大学院修了（博士後期課程、5 年一貫の博士課程等）	☐
8	その他（具体的に記載ください）	☐

問 1-4 あなたは現在、働いていますか。

1	フルタイムで働いている（研修扱い等で学業に専念している場合も含む。）	→問 2-1 へ	☐
2	パートタイム、アルバイトなどで働いている	→問 2-1 へ	☐
3	身分が保障されたまま休職	→問 2-1 へ	☐
4	求職中又は今後求職予定	→問 3-1 へ	☐
5	無職で、当面求職する予定もない	→問 3-1 へ	☐
6	その他（具体的に記載ください）	→問 3-1 へ	☐

■問 1- 4 で「1, 2または3」と回答した人にお尋ねします（選択は1つずつ）。

問 2-1 現在の職業を教えてください。

1	会社員	☐
2	公務員	☐
3	自営業	☐
4	パート・アルバイト(非正規社員・職員)	☐
5	派遣社員	☐
6	専門職(弁護士・医師・看護師・会計士等)	☐
7	教職(大学教員、校長、教頭等を含む)	☐
8	その他(具体的に記載ください)	☐

問 2-2 現在の職種を教えてください。

1	営業職	☐
2	企画・管理系職種	☐
3	事務系職種	☐
4	技術系職種	☐
5	専門職種	☐
6	クリエイティブ系職種	☐
7	販売・サービス系職種	☐
8	その他(具体的に記載ください)	☐

問 2-3 現在の役職を教えてください。

1	一般社員・職員クラス相当	☐
2	係長、主任クラス相当	☐
3	課長、部長クラス相当	☐
4	役員、経営者クラス相当	☐
5	個人事業主	☐
6	その他(具体的に記載ください)	☐

問 2-4 現在、お勤めの業種を教えてください。

1	農林漁業	☐	11	学術研究、専門・技術サービス業	☐
2	鉱業、採石業、砂利採取業	☐	12	宿泊業、飲食サービス業	☐
3	建設業	☐	13	生活関連サービス業、娯楽業	☐
4	製造業	☐	14	教育・学習支援業	☐
5	電気・ガス・熱供給・水道業	☐	15	医療・福祉	☐
6	情報通信業	☐	16	複合サービス業	☐
7	運輸業、郵便業	☐	17	マスコミ・広告業	☐
8	卸売・小売業	☐	18	サービス業(他に分類されないもの)	☐
9	金融・保険業	☐	19	官公庁・独立行政法人	☐
10	不動産業、物品賃貸業	☐	20	その他(具体的に記載ください)	☐

問 2-5 あなたが所属する会社や事業所の総従業員数(総職員数)を教えてください。

1	1-5 人	☐
2	6-20 人	☐
3	21-50 人	☐
4	51-100 人	☐
5	101-300 人	☐
6	301-500 人	☐
7	501-1,000 人	☐
8	1,001-5,000 人	☐
9	5,001 人～	☐

問 2-6 あなたが所属する会社や事業所の所在地を都道府県名でご記入ください。(任意)

問 2-7 大学等への修学に対する、あなたの雇用上の扱いを教えてください。

1	有給休暇	☐
2	研修扱い	☐
3	無給休暇	☐
4	時間短縮勤務	☐
5	通常と変わらない(裁量労働、または夜間や休日に通学)	☐
6	その他(具体的に記載ください)	☐

問 2-8 大学等で学んでいる間の、あなたの給与の取扱を教えてください。

1	通常と同じ額が支給	☐
2	時間短縮勤務等のため、通常より少ない額が支給	☐
3	休職等のため、全く支給されない	☐
4	その他(具体的に記載ください)	☐

問 2-9 授業料の支払い方法について、負担したものを教えてください。なお、複数の組み合わせによる支払いを行っている場合は、全て選択してください。

		全て選択
1	自己負担	☐
2	大学が負担(給付型奨学金など)	☐
3	国が負担(教育訓練給付金など)	☐
4	所属企業が負担	☐
5	その他(具体的に記載ください)	☐

問 2-10 職場に大学等で学んでいることを伝えていますか。

1	伝えている	→問 2-12 へ	☐
2	伝えていない	→問 2-11 へ	☐

問 2-11 問 2-10 で「伝えていない」と答えた方にお聞きます。「伝えていない」理由は何ですか(あてはまるもの 1 つだけ選択してください)。

1	転職予定のため	☐
2	転職予定でないにも関わらず、そのように思われる可能性があるため	☐
3	業務時間外の通学であるため、伝える必要がないため	☐
4	自己啓発であるため	☐
5	その他(具体的に記載ください)	☐

問 2-12 あなたが、在学中に職場に希望することは次のうちどれですか(3 つまで選択してください)。

		3 つまで
1	通学期間を長期有給休暇とする	☐
2	無給で構わないので、長期休暇が取れるようにする	☐
3	授業のある時間帯は、早退を許す、休めるようにするなどフレキシブルな労働時間とする	☐
4	授業料の一部もしくは全部を会社が補助する	☐
5	大学等に学んでいることを公言しづらい雰囲気なくす	☐
6	大学等への通学が原因で、評価を下げるなどの不利益がないことを確約する	☐
7	大学等へ通って卒業資格を得たものを評価する仕組みをつくる	☐
8	その他(具体的に記載ください)	☐
9	特になし	☐

問 2-13 あなたが大学等での学び直しをした後、職場での処遇に希望することは、次のうちどれですか。(最も重視するものを1つだけ選択してください)

1	希望の部署への配置転換	☐
2	給与や手当の増額	☐
3	昇進・昇級	☐
4	他の企業や事業所への転職	☐
5	その他(具体的に記載ください)	☐
6	特になし	☐

■すべての方にお尋ねします。

※ 「大学等」とは、国内の大学、大学院、短大、高等専門学校を指します。以下同様です。

問 3-1 あなたが学んでいる大学等とは、具体的にどのようなところですか(1つ選択)。

1	大学	☐
2	大学院(専門職学位課程)	☐
3	大学院(修士課程、博士前期課程)	☐
4	大学院(博士後期課程)	☐
5	短期大学	☐
6	高等専門学校	☐

問 3-2 あなたが学んでいる大学等の所在地の都道府県を記入してください(複数ある場合は主なもの1つに絞ってご回答ください)。(任意)

問 3-3 あなたが学んでいる大学等の専攻分野を教えてください(1つ選択)。

1	人文科学	☐
2	社会科学	☐
3	理学	☐
4	工学	☐
5	農学	☐
6	保健(医学、歯学、薬学)	☐
7	商船	☐
8	家政	☐
9	教育	☐
10	芸術	☐
11	その他(具体的に記載ください)	☐

問 3-4 あなたが学んでいる大学等での履修形態は次のうちどれですか(1)。

1	正規課程の学生	☐
2	履修証明プログラムの受講生(※)	☐
3	1, 2 以外の体系的なプログラムの受講生	☐
4	科目等履修生	☐
5	聴講生	☐
6	公開講座受講生	☐
7	その他(具体的に記載ください)	☐

※履修証明プログラム:各大学等(大学、大学院、短期大学、高等専門学校、専門学校)において、社会人等を対象に、大学等の教育・研究資源を活かし体系的に編成された、総時間数120時間以上の特別の課程。修了者には、各大学等により、学校教育法の規定に基づくプログラムであること及びその名称等を示した履修証明書を交付するもの。

問 3-5 あなたが学んでいる大学等の環境を教えてください(主なもの 1 つを選択)。

1	大学等の本校舎の教室	☐
2	サテライト教室	☐
3	通信教育	☐
4	e ラーニング	☐
5	その他(具体的に記載ください)	☐

問 3-6 あなたが学んでいる大学等の入学金や授業料に相当する総額を教えてください(コースに入学してから修了するまでに必要な費用の総額をお答えください)。

1	無料	☐
2	3万円未満	☐
3	3万円以上、5万円未満	☐
4	5万円以上、10万円未満	☐
5	10万円以上、20万円未満	☐
6	20万円以上、50万円未満	☐
7	50万円以上、100万円未満	☐
8	100万円以上、150万円未満	☐
9	150万円以上、200万円未満	☐
10	200万円以上	☐
11	わからない	☐

※例えば2年間の修士課程で入学金20万円、授業料年額100万円、施設整備費30万円であれば、総額250万円として計算してください。

問 3-7 大学等で学び直しをしている理由・目的を教えてください。最も近いものを3つまで選んでください。

		3 つまで
1	現在の職務に直接必要な基礎的な知識を得るため	☐
2	現在の職務における先端的な専門知識を得るため	☐
3	現在の職務を支える広い知見・視野を得るため	☐
4	現在とは違う職場・仕事に就くための準備をするため	☐
5	現在もしくは別の職場へ復帰するための準備をするため	☐
6	社外等の人的なネットワークを得るため	☐
7	資格取得のため	☐
8	学位取得のため	☐
9	昇進、昇級のため	☐
10	所属企業等から受講を薦められたため	☐
11	その他(具体的に記載ください)	☐

問 3-8 現時点において大学等で学び直しをして良かったですか(主なもの 1 つを選択)。

1	とても良い	☐
2	まあまあ良い	☐
3	あまり良くない	☐
4	良くない	☐
5	受講を開始したばかりで判断できない	☐

■大学等で実施してほしいことについてお聞きます

問 4-1 大学等での学び直しを通じて、あなたが特に身に付けたい知識・技能・資質等についてお聞かせください(5 つまで選択してください)。

		5 つまで
1	コミュニケーション能力	☐
2	計画力・プロジェクト管理能力	☐
3	リーダーシップ・実行力	☐
4	提案力	☐
5	プレゼンテーション能力	☐
6	応用力・柔軟性	☐
7	自己管理能力	☐
8	粘り強さ・タフさ	☐
9	基礎学力	☐
10	専門的知識	☐
11	論理的思考能力	☐
12	数量的理解力	☐
13	問題設定・解決能力	☐
14	独創性	☐
15	情報分析能力	☐
16	社会人としての目的意識・意欲	☐
17	社会人としての礼儀・快活さ	☐
18	倫理観・責任感	☐
19	積極性・好奇心	☐
20	国際性	☐
21	社会性・協調性	☐
22	その他(具体的に記載ください)	☐
23	特にない	☐

問 4-2 あなたが、大学等のカリキュラムとして特に重視してほしい内容は次のうちどれですか(3 つまで選択してください)。

		3 つまで
1	最先端にテーマを置いた内容	☐
2	我が国の企業全般が抱える諸問題への指針を提供できるような内容	☐
3	分野横断/学際性に配慮した幅広い視点からの研究・学習が可能な内容	☐
4	特定の分野を深く追求した研究・学習が可能な内容	☐
5	応用・実践問題の研究・学習に重点をおいた内容	☐
6	基礎理論の研究・学習に重点をおいた内容	☐
7	特定職種の実務に必要な専門的知識・技能を習得できる内容	☐
8	幅広い仕事に活用できる知識・技能を習得できる内容	☐
9	独創的な発想による問題解決力を養う内容	☐
10	知識に基づいた深い洞察力を養う内容	☐
11	研究推進能力を身に付ける内容	☐
12	座学のみならず、実習等実践的な講義を重視した内容	☐
13	その他(具体的に記載ください)	☐
14	特にない	☐

問 4-3 大学等で特に重視して欲しい教育方法は次のうちどれですか(3 つまで選択してください)。

		3 つまで
1	ICT を活用した教育方法	☐
2	事例研究・ケーススタディ	☐
3	グループワーク・ディスカッション	☐
4	アクティブ・ラーニングや課題解決型学習(PBL)	☐
5	レポート・論文作成指導	☐
6	個別の教育指導	☐
7	企業等出身の講師や実務の最先端の講師による講義	☐
8	専門知識・基礎知識の復習	☐
9	企業等と連携した授業	☐
10	実習・演習	☐
11	実地での体験活動を伴う授業	☐
12	その他(具体的に記載ください)	☐
13	特になし	☐

問 4-4 大学等において、教育環境面で特に重視してほしいことは次のうちどれですか(5 つまで選択してください)。

		5 つまで
1	体系的な教育カリキュラムを充実させること	☐
2	入学時期をフレキシブルにすること	☐
3	休学や、退学・再入学を柔軟に受け付けること	☐
4	短期間で修了できるコースを充実させること	☐
5	長期分散型のコースを充実させること	☐
6	授業に参加できない場合、費用を一部もしくは全部返還すること	☐
7	授業単位で学費を支払えるようにすること	☐
8	授業料を安く設定すること	☐
9	科目等履修制度を活用すること	☐
10	履修証明制度を活用すること	☐
11	教育訓練給付制度を活用すること	☐
12	教員を充実させること	☐
13	体験入学を実施すること	☐
14	通学しやすい場所に学校・教室を整備すること	☐
15	インターネットなどによる授業ができるシステムを整備すること	☐
16	時間帯を自由に選択可能にすること	☐
17	夜間、土日、休日等の社会人に配慮した時間帯での授業を開講していること	☐
18	カウンセリングを充実させること	☐
19	シラバス(講義の概要・計画)をより詳細化させるとともに外部からも参照可能とすること	☐
20	その他(具体的に記載ください)	☐
21	特になし	☐

■「職業実践力育成プログラム(BP)認定制度(http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/bp/index.htm)」について、以下の設問にお答えください。

※「職業実践力育成プログラム」(BP)とは、大学・大学院・短期大学・高等専門学校におけるプログラムの受講を通じた社会人の職業に必要な能力の向上を図る機会の拡大を目的として、大学等における社会人や企業等のニーズに応じた実践的・専門的なプログラムを「職業実践力育成プログラム」(BP)として文部科学大臣が認定する制度です。

問 5-1 「職業実践力育成プログラム」(BP)認定制度をご存じですか(最も当てはまるものを1つだけ選択してください)。

1	知っている	☐
2	知らない	☐

問 5-2 「職業実践力育成プログラム」(BP)認定制度に関心はありますか(最も当てはまるものを1つだけ選択してください)。

1	機会があれば修学したい	☐
2	関心はある	☐
3	関心はない	☐
4	わからない	☐

■お差支えなければ、あなたが修学しているプログラム(課程)の名称を教えてください(任意)

大学等名称	
プログラム(課程)名	

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。